

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和4年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	佐賀市立循誘小学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝読書の取組や校内研究での取組により、落ち着いた学習態度で授業に臨むことができた。来年度も朝読書と主体的な学習への取組を継続していく。</li> <li>心の教育については今年度の取組を継続しながら、道徳科の授業づくりを中心に道徳教育の充実を図っていく。</li> <li>特別支援教育については、個に応じた支援の更なる充実を図る。</li> </ul>
2 学校教育目標	夢をもち 仲間とともに 学びを深める 子どもの育成
3 本年度の重点目標	①思いやりの心をはくむ教育の推進      ④学校課題への対応強化 ②主体的・対話的で深い学びとなる授業の展開 ③子どもの自尊感情を高める取組

4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価		主な担当者
(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師85%以上 ○12月の県学習状況調査において、4、5、6年生の国語と算数を対比し、1.0ポイント以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>共通実践(学習の振り返りの時間を設ける)を意識した授業実践を行う。</li> <li>自主学習への取組と内容の充実を図る。</li> <li>校内研究の推進を図る。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>単元目標を明確にした授業づくり、児童に身近な場面を意識した授業づくりについて共通理解を行った。</li> <li>学習をふりかえる時間を継続して確保することを確認し、各学年に実践を呼び掛けている。</li> <li>自主学習を学年掲示板に掲示し、内容の広がりや意欲の向上に努めている。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>学力向上対策評価シートのマイプランの成果指標を達成している教職員の割合は95%であった。</li> <li>12月の県学習状況調査において、対県比で4年国語(0.98)・算数(1.05)、5年国語(0.94)・算数(1.00)、6年国語(1.05)・算数(1.12)となった。児童の興味や関心を高める単元を通じた授業づくりを進めていく必要がある。</li> <li>自主学習を教室や廊下等に掲示し、意欲の向上に努めることができた。今後は内容の充実させるための手立ての検討を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>研究主任</li> <li>学力向上対策コーディネーター</li> </ul>
	○読書の奨励	○年間貸出冊数(多読賞一低:120冊、中:110冊、高:90冊 以上)について、達成率80%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝読書に全校で取り組む。</li> <li>図書館まつりを中心としたイベントを工夫したり、本の紹介をしたりして、本への興味・関心を高める。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>前期目標貸出冊数の達成率は88.5%であった。</li> <li>転任、新任の先生のオススの本の紹介やアジサイ祭りを通して様々な本に親しむことができた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>1月までの年間貸出冊数の達成率は、83.8%であった。達成率が中間評価と比較すると下がっているため、本をたくさん借りるためのイベントや声掛けをする必要がある。</li> <li>学習に合わせたオススの本(SDGsや戦争など)季節に合わせた本の紹介をすることでより興味や読書意欲を高めることができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>図書館教育担当</li> </ul>
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○学級担任全員が、授業参観において年1回以上道徳の公開授業を行う。 ○「思いやりの気持ちをもって接しているか」について、肯定的な回答をした児童90%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒支援教員と連携を図り、道徳の授業の充実を図る。</li> <li>善行紹介「名人紹介」を継続するとともに、質の向上を図る。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内研と絡めて道徳の授業を各学年および全校で取り組む。授業を公開するようになっている。</li> <li>7月に平和集会を行い、平和の大切さを学ぶ機会を設けた。</li> <li>名人紹介では、各学年とも活発に取り組んでおり、紹介された児童は5割程度である。全員紹介を目標に、今後も推進していく必要がある。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>2学期に全クラスで道徳の公開授業を行うことができた。</li> <li>「思いやりの気持ちをもって接しているか」について、肯定的な回答をした児童は95%であった。</li> <li>12月の人権集会では各学級で考えた合言葉を発表したり、「しあわせのパケツ」の読み聞かせをして互いの人権の大切さについて話し合ったりして、意識付けを行った。</li> <li>各人委員が給食時間に行っている名人紹介では、友達が頑張っていることやよさについて全校で紹介することで、互いを認め合う雰囲気が高まった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道徳教育推進教師</li> <li>人権・同和教育担当</li> <li>児童生徒支援教員</li> </ul>
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○「学校で楽しく過ごしているか」について、肯定的な回答をした児童90%以上 ○毎月の児童アンケート、2か月に1回の保護者アンケートの実施。	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども支援部による情報の一括管理と共通理解に基づいた支援を行う。</li> <li>各種アンケート結果からの早期対応を行う。</li> <li>教育相談時間を設定する。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童アンケートの結果、肯定的な回答は93.3%だった。</li> <li>子ども支援部会で、全クラス分の児童アンケート結果を確認し、情報共有を行っている。保護者アンケートで気になる記述がある場合は、早期対応をし、必ず管理職に報告している。</li> <li>教育相談時間は2学期に実施予定。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童アンケートは、94.6%という結果で、目標値を大きく上回った。</li> <li>部会でアンケート結果を共有し、情報交換を行ったことで、気になる児童への早期対応が可能となった。</li> <li>教育相談時間を実施したことで、児童の実態や悩みなどを把握し、教育活動に生かすことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導担当</li> <li>人権・同和教育担当</li> <li>児童生徒支援教員</li> <li>教育相談担当</li> </ul>
	◎自らの夢や目標の実現に向けて努力する気持ちを高める教育活動の推進	◎「自分の夢や目標に向かって努力しているか」について、肯定的な回答をした児童90%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学年に応じたキャリア教育を充実させる。</li> <li>学校行事や児童会活動を中心に「出番・協働・承認」をキーワードとして、児童の活躍の場を設定する。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ対応で、児童会活動などでの出番が減らないように、動画を使い、活躍の場を設けた。運動会では、練習の段階から高学年が主体的に助けるように計画立てた。</li> <li>昨年度までの反省を活かして、キャリアパスポートのワークシートを見直した。全学年、新しい学年になっての目標、将来の夢、自分の良いところなどを文や絵で表現し、キャリアパスポートの1ページ目とした。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童会活動では、活動や集会内容をみんなで考えながら進めた。コロナの状況に応じて、集会の形態を変え、児童の出番が減らないように工夫した。</li> <li>児童アンケートは、肯定的な回答の目標値90%以上に対し、91%という結果であった。</li> <li>キャリア教育については、年間計画に沿って総合や道徳、学活などを通して取り組むことができた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャリア教育担当</li> <li>特活主任</li> <li>体育主任</li> </ul>
●健康・体づくり	●望ましい生活習慣の形成	○「こまめな手洗いを意識して行っている」について、肯定的な回答をした児童85%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症、熱中症対策について、全校で予防法を確認する。</li> <li>保健だより等で注意喚起を促す。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染症予防として職員会議等で手洗いを徹底して行うよう呼びかけ、教職員の意識を高めた。</li> <li>熱中症予防の資料を配布し家庭へ周知した。</li> <li>感染症や熱中症予防について、保健だよりや放送、掲示物等で注意喚起した。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>「こまめな手洗いを意識して行っている」について、肯定的な回答をした児童は94%で目標を達成することができた。</li> <li>放送や保健だよりで注意喚起をし、児童集会で再度手洗いを含めた感染症予防の確認をした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>養護教諭</li> <li>保健主事</li> </ul>
	○安全に関する資質・能力の向上	○防犯ブザーの所持率85%以上 ○避難訓練や交通安全教室の計画的実施 ○「携帯電話等の使用について親子で決めたルールを守っている」について、肯定的な回答をした児童90%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>防犯ブザーの所持について、下校指導時に各学級で毎日確認する。</li> <li>避難訓練や交通安全教室を計画し、児童の命や安全に対する意識の向上を図る。特に、避難訓練については、予告なし訓練や保護者引渡し訓練を実施する。</li> <li>SNSに関する児童・保護者向け講演会を実施する。また、各学期に1回ずつは情報モラル教育を学級で実施する。</li> <li>学校便りによる保護者への啓発を行う。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>下校指導時に、各学級で防犯ブザーの確認をしている。一斉下校の際に全校で確認しても忘れていた児童は数名で、しっかり意識付けできている。</li> <li>4月に交通安全教室と避難経路確認訓練、6月に風水害避難訓練と不審者対応避難訓練、1年生の保護者引き渡し訓練を実施した。</li> <li>情報モラル教育は、各学級単位で児童の実態に応じた授業を実施した。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>防犯ブザーの所持率は87%で、目標値を上回る結果だった。各学級での日々の指導が良い結果に繋がっている。</li> <li>避難訓練は計画通りに実施できた。担当者だけでなく、部会で案を練ったことで、実りある訓練となった。</li> <li>携帯電話等のルールの遵守について、肯定的な回答をした児童は86%であった。学期に1回、児童の発達段階に応じた情報モラル教育と共に、4、5、6年生の児童と保護者対象として、外部講師による講演会も11月に実施した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導担当</li> <li>安全教育担当</li> </ul>
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外勤務時間の上限を遵守する。 ○時間を意識して働いた教職員80%以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>退勤予定時刻を毎朝記入し、見直しをもって業務を行う。</li> <li>「働き方改革」を継続し、資料・会議等のさらなるデジタル化を進める。</li> <li>長期休業中に業務改善に係る研修会を行う。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>時間外勤務等時間45時間未満の達成率は4月は29%、5月は63%、6月は46%、7月は100%であった。</li> <li>夏季休業中の研修の精選を行い、夏季休暇と年次休暇の取得促進を図った。(8月末:夏休取得100%、年休10日以上取得46%)</li> <li>業務改善に係る資料を提供し、情報共有を行うことができた。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>全職員の時間外勤務時間の平均は37時間(8月を除く)であり、働き方改革を意識して業務を行うことができたことと回答した職員は81%であった。</li> <li>時間外勤務等時間45時間未満の達成率は9月54%、10月58%、11月71%、12月100%であり、さらなる改善を必要とする。</li> <li>長期休業中の行事を精選し、夏季休暇及び年次休暇を取得しやすくなった。</li> <li>年次休暇年間10日以上取得した職員89%であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理職</li> <li>教務主任</li> </ul>
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		主な担当者
評価項目	重点取組 取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	
○特別支援教育の充実	○教員の専門性と意識の向上	○研修会を年6回行う。 ○子ども支援会議を年9回行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修会を実施する。</li> <li>子ども支援会議を開き、情報共有を行う。</li> <li>専門機関との連携を図り、必要に応じてケース会議を開く。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画通りに研修会を実施し、専門性を高めている。研修内に本校児童について考える時間を作り、すぐに実践に生かせるようにした。</li> <li>定期的な子ども支援会議を行うとともに、さらに一人一人に寄り添った校内支援会議を開いてきた。</li> <li>専門機関との連携を図り、検査結果や実態から支援について考えるケース会議を開いてきた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>予定通りの研修会及び子ども支援会議を9回、行事前の児童への対応確認を2回行った。全職員で児童の様子や支援に関する共有ができた。</li> <li>支援を必要とする児童について、ケース会議や面談等を行った。効果的な支援について話し合い、校内だけでなく、保護者や関係団体等とも支援について共通理解することができた。</li> <li>巡回相談などの障がいのある子どもの学校生活支援事業を活用し、指導・助言を受け、支援の実践および改善を行った。</li> </ul>	
○社会に開かれた学校づくり	○保護者・地域との連携 ○地域の「人・もの・こと」の活用	○年6回以上の学校公開、月2回の学校便り発行を行う。 ○保護者アンケートを実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>郷土学習を継続し、地域人材の活用を行う。</li> <li>地域行事(ふれあい祭り、文芸賞等)への参画を促す。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>月2回の学校便り発行は計画通りである。フリー参観としては実施できなかったが、授業参観を行うことができた。</li> <li>郷土学習については、コロナ対策を講じながら実施している。</li> <li>コロナ対応のため、地域行事への参加、学校ボランティアについてはまだ実施できていない。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校公開については、フリー参観としては実施できなかったが、コロナ対策を講じながら予定通り授業参観を行うことができた。また、学校だよりやHPで学年の様子を公開することができた。</li> <li>郷土学習については、コロナ対策を講じながら行い、地域人材の活用を行うことができた。</li> <li>保護者アンケートにおいて循誘校区や佐賀県のことを知り、郷土理解を深めていると回答した保護者70%であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>管理職</li> </ul>

5 総合評価・ 次年度への展望	●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ・人権・同和教育や道徳教育(校内研究)等を計画的に行うことにより、思いやりのある心を育む教育の推進を図ることができた。次年度は、道徳科を中心に主体的・対話的で深い学びとなる授業展開の充実を図る。 ・働き方改革を念頭に据えながら、コロナ禍で縮小されてきた各種行事の見直しと充実を図る。 ・特別支援教育については、個に応じた支援の更なる充実を図る。
--------------------	--